

伊勢湾ぶらあるき

[第3回]

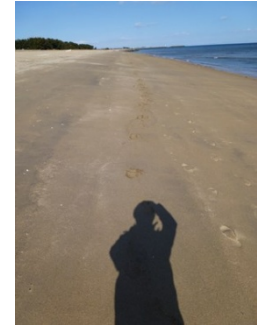
■白子港～栗真町屋海岸／2018. 2.18.(約17km)



・スタートは白子港



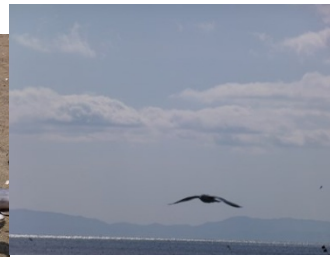
・大黒屋光太夫・讃碑／井上靖



・月光仮面参上！
って、わかりますか？



・延々と、白砂・青松・潮風を堪能した。



・生き物シリーズ。鳴き声が聴こえますか？



・人工物シリーズ。いつも忽然と現れる。



・直轄海岸整備中 > 栗真町屋工区

○今回のまとめ

- ・起終点駅から伊勢湾までの道程以外、漁港を除けば、道中全て浜を歩けた。
- ・お陰で靴底の減りが極めて少ないはずだが、帰宅後、靴下の中から砂・砂・砂・・・。
- ・この時期、このルートは、南に向いて歩くが正解。追い風と陽光が爽やか。
- ・直轄海岸(栗真町屋地区)も見ることができた。
- ・今回も昼飯はゴール後。海浜部を歩く限り「食」にはありつけない＝弁当持参。(加藤)

伊勢湾ぶらあるき

[第4回]

■津市・贄崎～香良州海岸／2018. 3.18.(日) (約25km)



・今日もよい天気。(=よい天気の日しか歩かない)



・贄崎海岸＝津なぎさ
まちからスタート。



・どっちから読む？



・地名に海が集積



・あつた！
♪あ～あ～みなとま～ち
13ばんち～♪



・散歩していた地元の人が「今日は大潮だから貝がよく採れるだろう」と言っていた。 南に向かうほど、人が増えてきた。



・恋の → 予感 → 結末や如何に？



・こちらはヒトの描いた♥
祈・成就



・ひとりで昼めし



・香良州海岸名盤
知った名前が数名

・H5～22整備
黒ずんできた

・三重の海苔



・浜で羽を伸ばして



・空き缶よりは花の種でもまいた方が方がいいセンスと思いますがね。
(この車とゴミは無関係です。念のため)

○今回のまとめ

- ・津駅から松阪駅まで行こうと思ったが、香良州海岸から伊勢中川駅に向かう。それでも25km歩いたものの、うち、香良州→伊勢中川は海から離れて後6km。
- ・途中で内陸部をショートカットの誘惑に駆られるが、遠回りでも沿岸部に行くことに意味がある。
- ・沿岸部を歩いていると常に「津波が来たらどこに逃げようか」と考える。考えても答えが出ない(近くに高層建物が無い)ことがある。
- ・年齢のせい、海岸や河川の堤防沿いに共同墓地がたまに目につく。
- ・以前からの疑問で、伊勢湾は、いつごろから、なぜ「伊勢」湾なのか？東京湾や大阪湾の名は比較的新しい感じがするし、駿河湾や相模湾は昔の地名を使っているとしても、日本の「〇〇湾」は全体として近代に付けられたような気がする。大きな湾は海であって「湾」という発想は昔は(広すぎて)なかったのか？知っている人がいれば教えて下さい。

(加藤)